

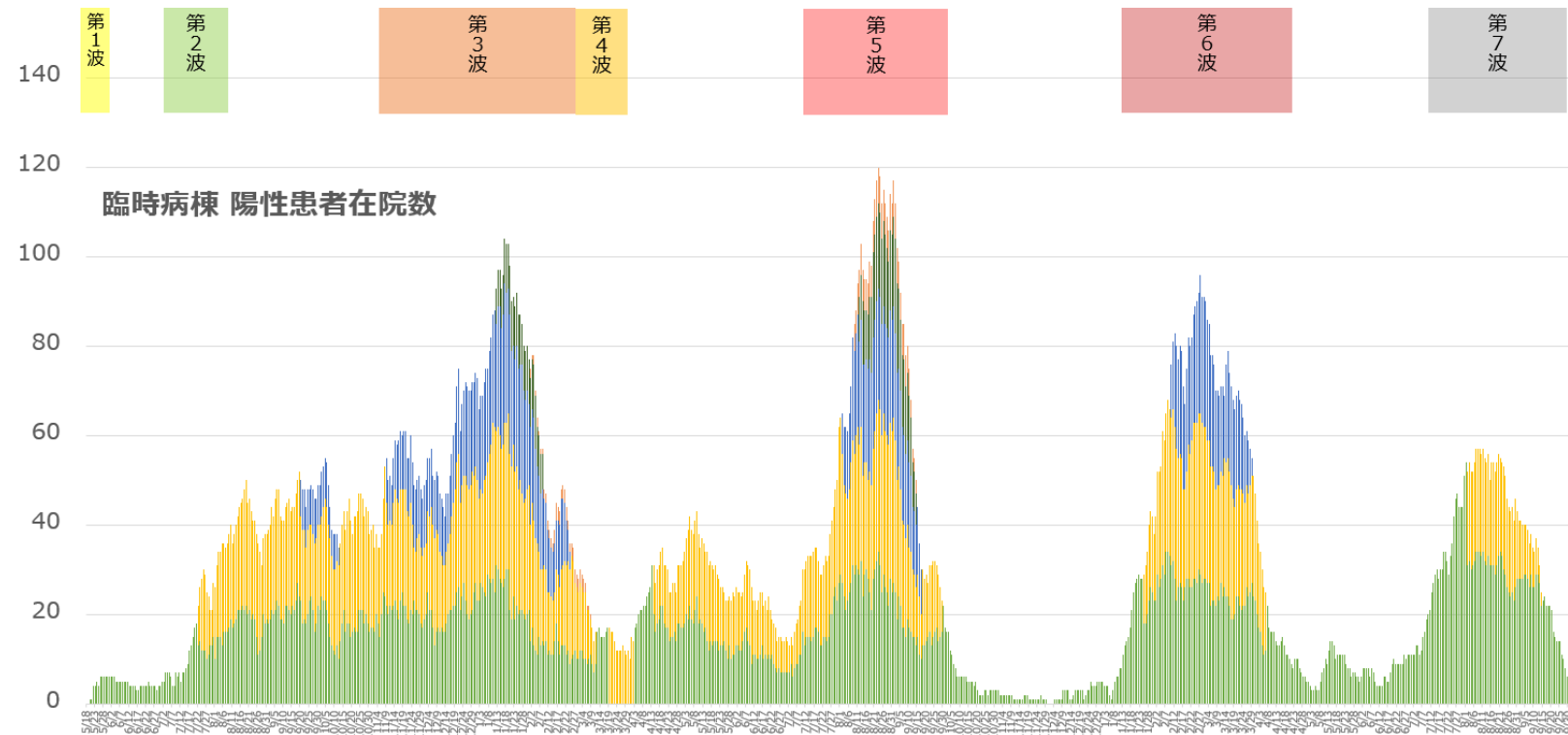
効率的かつ自由な外出を支援する “四方よし”の介護タクシーデジタル化

湘南鎌倉総合病院



2020年からの新型コロナウイルス感染症

パンデミック



一施設での受け入れの限界を超えた
 他施設への搬送調整を行う必要があった
 1日あたり **10件～14件**の調整が発生



電話やFAXでの転院調整を行うには限界がきていた

人海戦術の限界



出会い系アプリ



介護タクシー・マッチング・アプリ (アイネット株式会社 × 神奈川県)



病院もしくは患者と介護タクシーをマッチング

移動困難者

配車

介護タクシー事業者

安心して利用、移動したくなる

速やかな配車、稼働率向上



車いす
ストレッチャー
要介助



介護サービス



自宅の階段
付近の路地

マッチング



待機車両予測
介護人員配置予測

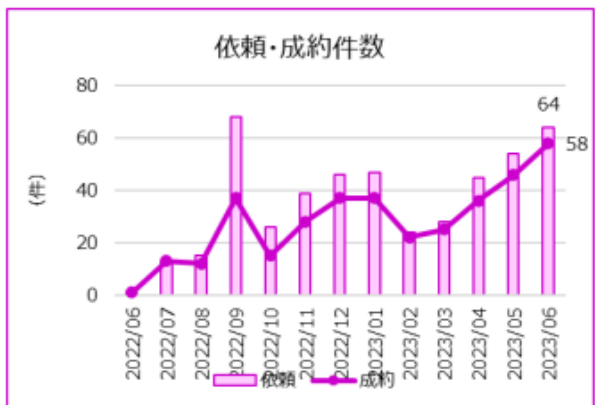


院内の医療従事者(MSW、看護師、救命士)が、転院搬送を行う際、1件1件の介護タクシー会社へ連絡をするという非効率な状況を改善するために、神奈川県の問題解決補助金を活用しアプリ開発会社、介護タクシー会社の皆さんと「介護タクシーマッチング・アプリ」を開発し実証試験を開始しました。

介護タクシー・マッチング・アプリ (アイネット株式会社 × 神奈川県)

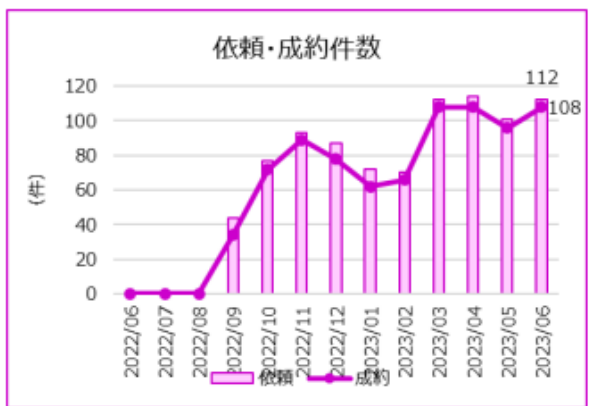
- 依頼数・確定数ともに前月から増加。
- 5分以内にタクシーを選択できない仕様導入後も特に不満は聞かれていない。

➤ ER室



月	依頼	成約	成約率	割合			成約率				依頼時刻割合			
				5分以内	5~10分	10分超	00:00~06:00	06:00~12:00	12:00~18:00	18:00~00:00	00:00~06:00	06:00~12:00	12:00~18:00	18:00~00:00
2023-06	64	58	91%	0%	74%	26%	50%	93%	94%	93%	6%	47%	25%	22%
2023-05	54	46	85%	0%	72%	28%	67%	91%	77%	100%	17%	43%	24%	17%
2023-04	45	36	80%	56%	22%	22%	40%	85%	100%	67%	11%	44%	24%	20%
2023-03	28	25	89%	64%	24%	12%	33%	92%	100%	100%	11%	46%	25%	18%
2023-02	24	22	92%	50%	5%	45%	50%	108%	100%	80%	17%	50%	13%	21%
2023-01	47	37	79%	59%	14%	27%	56%	92%	100%	67%	19%	28%	21%	32%

➤ 患者支援室



月	依頼	成約	成約率	割合			成約率				依頼時刻割合			
				5分以内	5~10分	10分超	00:00~06:00	06:00~12:00	12:00~18:00	18:00~00:00	00:00~06:00	06:00~12:00	12:00~18:00	18:00~00:00
2023-06	112	108	96%	0%	39%	61%		84%	100%	100%	0%	34%	61%	5%
2023-05	101	96	95%	2%	45%	53%		74%	100%	100%	0%	31%	63%	6%
2023-04	114	108	95%	50%	14%	36%		83%	100%	100%	0%	42%	54%	4%
2023-03	112	108	96%	57%	16%	27%		93%	97%	100%	0%	36%	60%	4%
2023-02	70	66	94%	58%	11%	32%		83%	102%	67%	0%	34%	61%	4%
2023-01	72	62	86%	63%	13%	24%		105%	82%	33%	0%	26%	69%	4%

医療と社会の背景

2023年5月
新型コロナウイルス感染5類引き下げ

2020年1月
新型コロナウイルス感染拡大

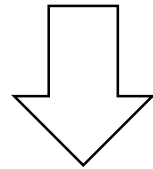
2024年4月
医師の働き方改革

2025年4月
地域医療構想

2040年
高齢者と現役世代同人口

医師の偏在対策

生産労働人口の減少と高齢者の増加



生産労働人口 ÷ 高齢者人口

※20歳以上の人口比較

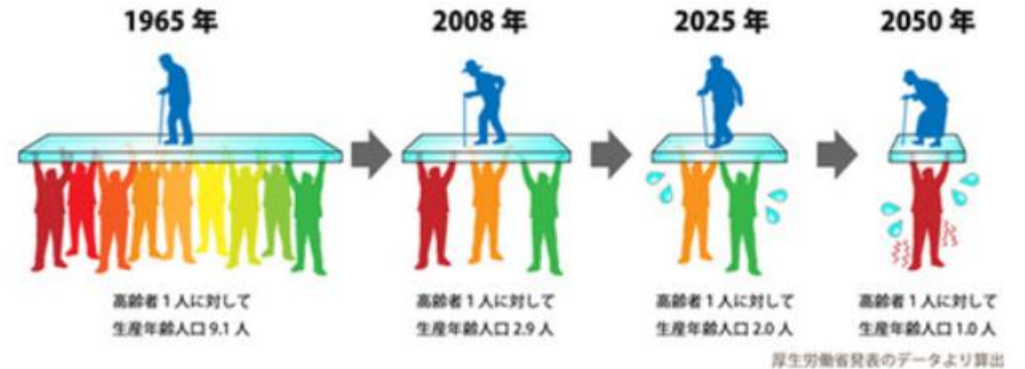
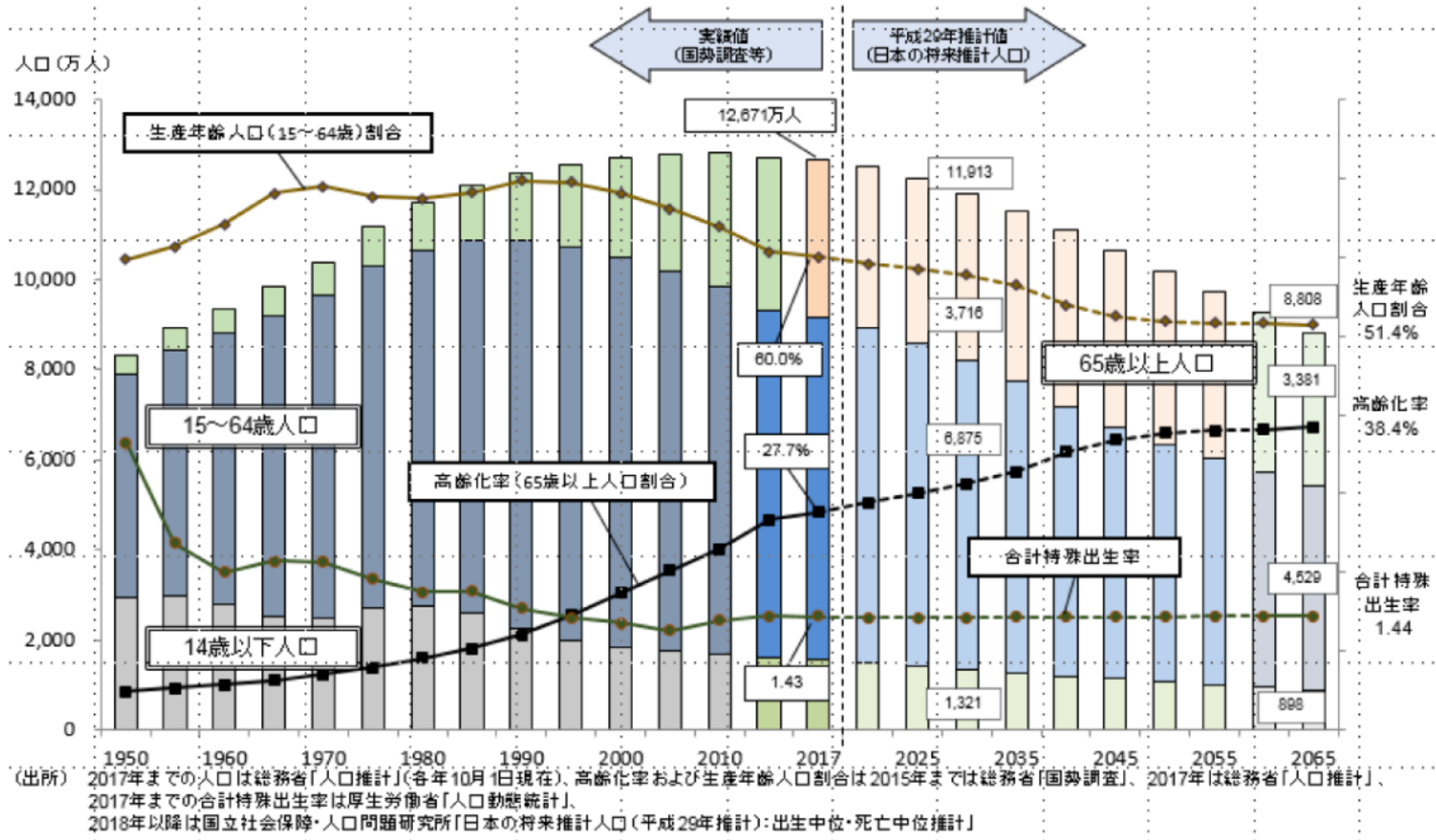
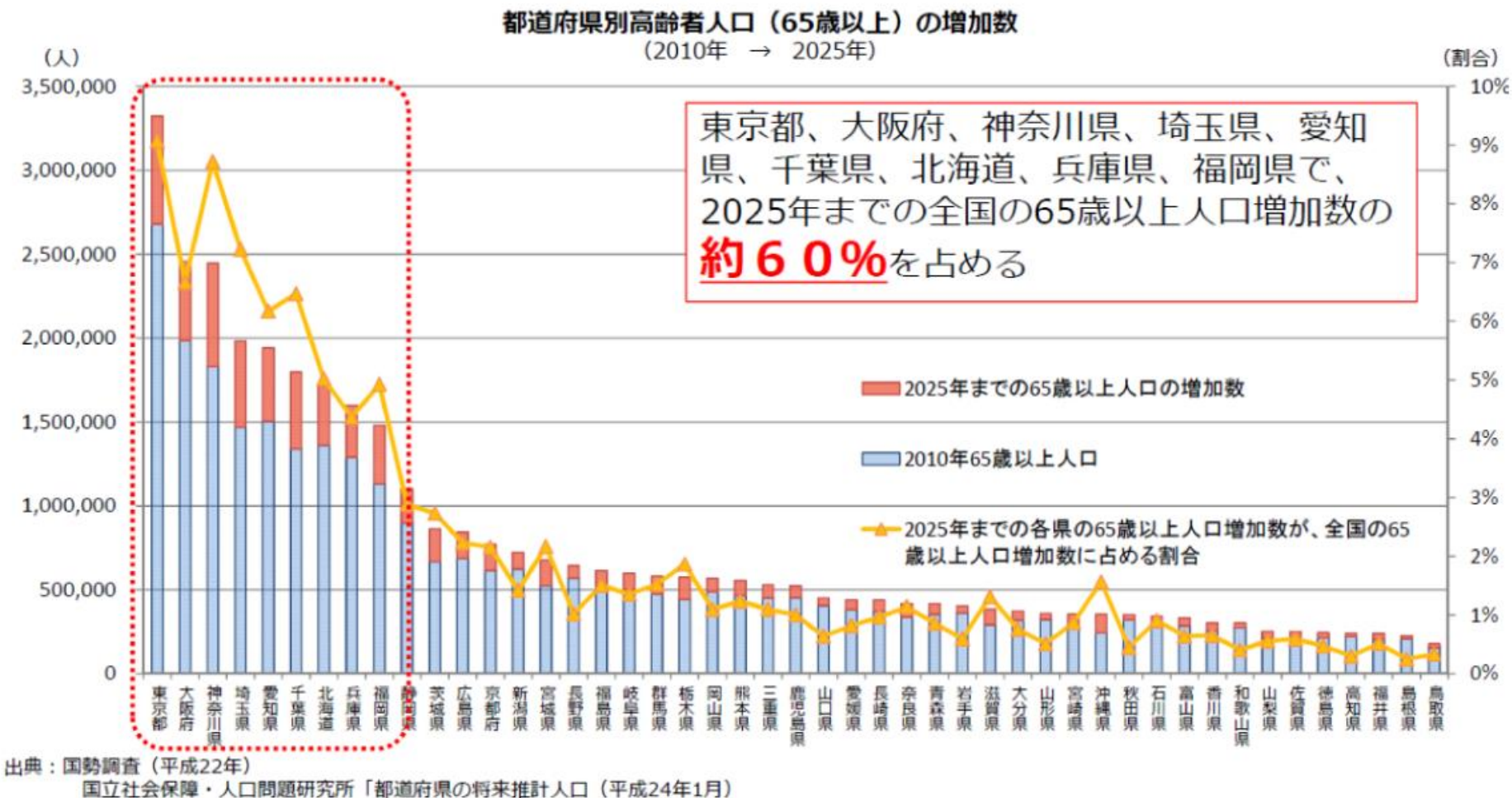


図1 日本の人口の推移



日本の高齢化率(65歳以上人口の割合)は、2017年(平成29年)に27.7%となり、4人に1人が高齢者という本格的な高齢社会を迎えています(図1)。少子高齢化の流れは今後も加速し、団塊の世代が75歳以上となる2025年には、医療・介護のニーズが急増すると予測されています。このため、2025年に備えて、医療・介護サービスの提供体制の整備が進められています。高齢化の一方で、日本の総人口は減少局面に入り、2065年には総人口が9,000万人を割り込み、高齢化率は40%近くにまでなると予想されています。これに伴い、医療・介護の担い手となる生産年齢人口が急速に減少し、2025年の7,170万人から2040年には5,978万人になると推計され、社会の支え手の減少が大きな課題となります。

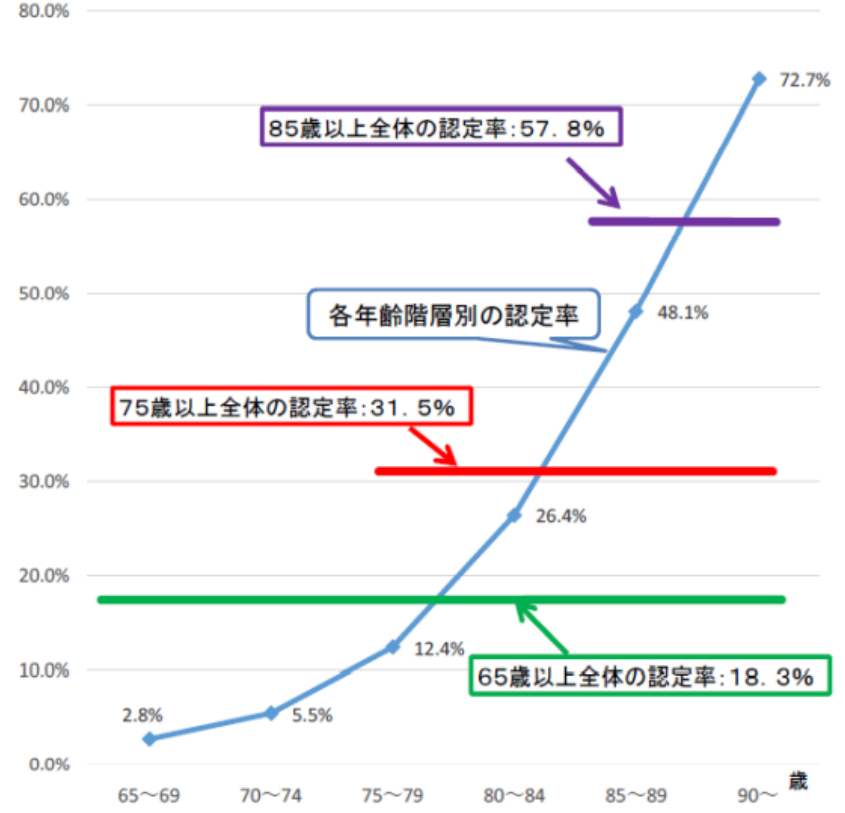
図2 都道府県別高齢者人口（65歳以上）の増加数（2010年→2025年）



高齢化の状況には地域によって大きく異なります。高齢者数が大きく増加するのは、首都圏をはじめとする都市部であり、65歳以上人口の増加数を見ると、東京都、大阪府、神奈川県、埼玉県、愛知県、千葉県、北海道、兵庫県、福岡県で、2025年までの全国の65歳以上人口増加数の約60%を占めることとなります。都市部の高齢化が進み、地方では過疎化が進むこととなります(図2)。

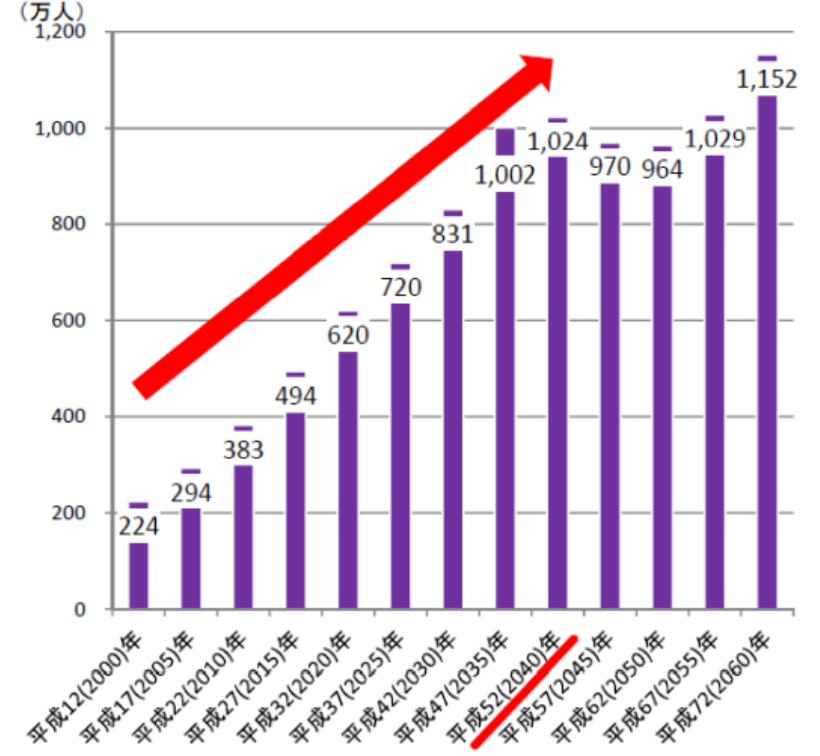
- 要介護認定率は、年齢が上がるにつれ上昇し、特に、85歳以上で上昇する。
- 85歳以上の人口は、2040年に向けて、引き続き増加が見込まれており、在宅・介護施設の要介護高齢者の増加が見込まれる。

年齢階級別の要介護認定率



出典: 2020年9月末認定者数(介護保険事業状況報告)及び2020年10月1日人口(総務省統計局人口推計)から作成

85歳以上の人口の推移



出典: 将来推計は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成29年4月推計)出生中位(死亡中位)推計
実績は、総務省統計局「国勢調査」(国籍・年齢不詳人口を按分補正した人口)

人生100年時代の健康寿命延伸

厚生労働省 第4回救急・災害医療提供体制等に関するワーキンググループ資料 (2022.4.28) より



高齢者もしくは歩行が困難な人が
“さくら”を見に行くことができれば



介護タクシーデジタル化共創プラットフォーム

取組の概要

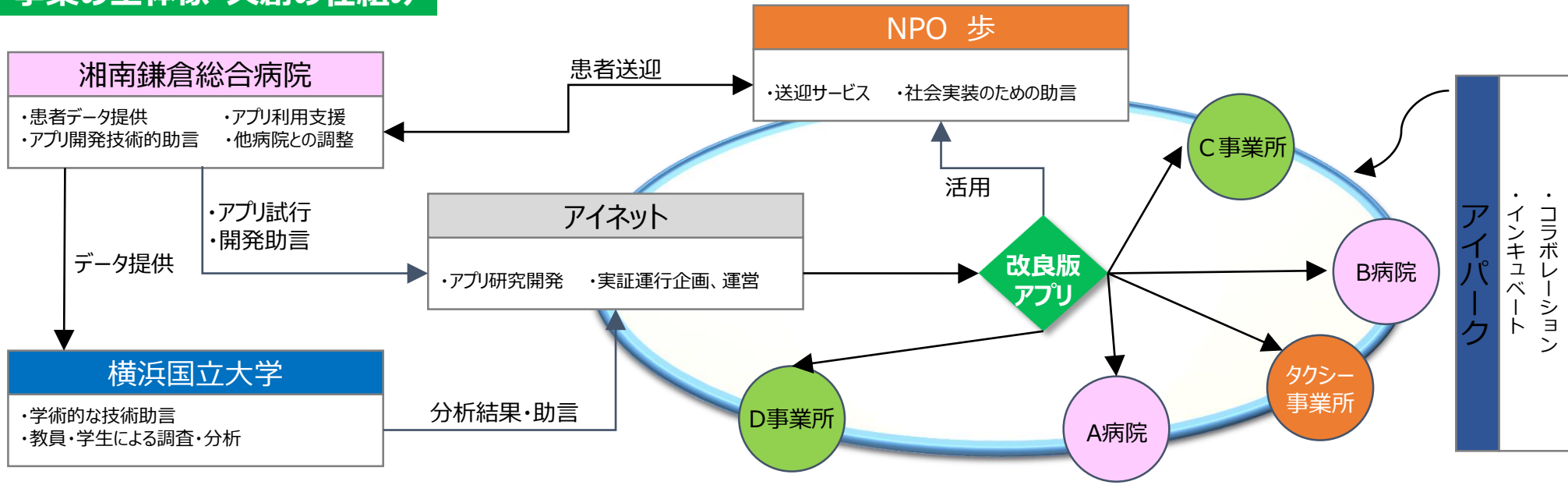
(現状の地域課題と事業目的)

- 入通院・救急患者の増加、医師の働き方改革導入によって今後、地域中核医療機関等の**医療資源が逼迫**することが予想される。
- 現状、介護タクシーの配車手配は電話による受注となっており、**1台30～60分以上の時間を費やしている**。
- 配車手配をデジタル化した新たな介護タクシーサービスを構築**し、医療機関や患者の負担軽減、介護タクシー事業者の稼働率向上、地域住民の効率的かつ自由な外出を可能とする“四方よし”のWell-being社会を実現する。

(事業の概要)

- 地域中核病院の救命救急科を通じて浮き彫りになった地域課題について、令和3年度より介護タクシーアプリの開発を行ってきた。
- 令和4年度は、試験的に湘南鎌倉総合病院にアプリを導入したところ、**月100件を超える利用**につながり、現場ニーズを捉えた。
- 本事業では、複数の医療機関で活用できるアプリへと**バージョンアップ**させるとともに、**改良版アプリを活用した実証運行**を実施する。

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(実証事業の内容)

- ①住民の介護タクシー等の病院アクセスニーズに対する調査・分析を行い、アプリ開発へフィードバック
- ②介護タクシーアプリのバージョンアップ（研究開発）
- ③調査・分析結果等を踏まえた**バージョンアップ後の介護タクシーアプリを活用した実証運行**
- ④実証運行の広報、調査・分析結果の住民へのフィードバック等を目的とした普及イベントの実施

(地域関係者との連携・協働)

- ✓ 本事業は、介護タクシーにフォーカスしているが、個人事業主が多く、事業者単体でデジタル化や普及活動、社会実装まで一気通貫で推進するのは困難である。
- ✓ そのため、介護タクシーを実際に手配している医療機関やSierであるアイネット社、都市交通の専門家である大学教員等の共創が必要不可欠である。
- ✓ 本事業では、**地元の神奈川県、鎌倉市、藤沢市の3自治体による協力体制**を整えているほか、本事業実施地域が今後魅力あるモビリティ拠点となるためのサイエンスパーク機能を有するアイパークインスティテュート社も参画し、多様なコラボレーションを活かしていく。

(地域課題解決への有効性)

- ✓ 本事業で解決を目指す介護タクシーデジタル化は、日本屈指の救急搬送を受け入れる湘南鎌倉総合病院の**救命救急科長に対する丁寧な現場ヒアリング**から浮き彫りになった課題に対するソリューションである。
- ✓ 昨年試験的導入時には、**月100件を超える実績**があり、およそ**10分以内に7割の配車**で可能となる等有効性が確認できている。
- ✓ 神奈川県が策定した「かながわ交通計画（令和4年3月）」においても、ICTを活用した新たな交通サービスの構築が喫緊の課題として挙げられており、地域課題解決に資する取組である。

日本経済新聞

2022/9/22 18:30 | 日本経済新聞 電子版



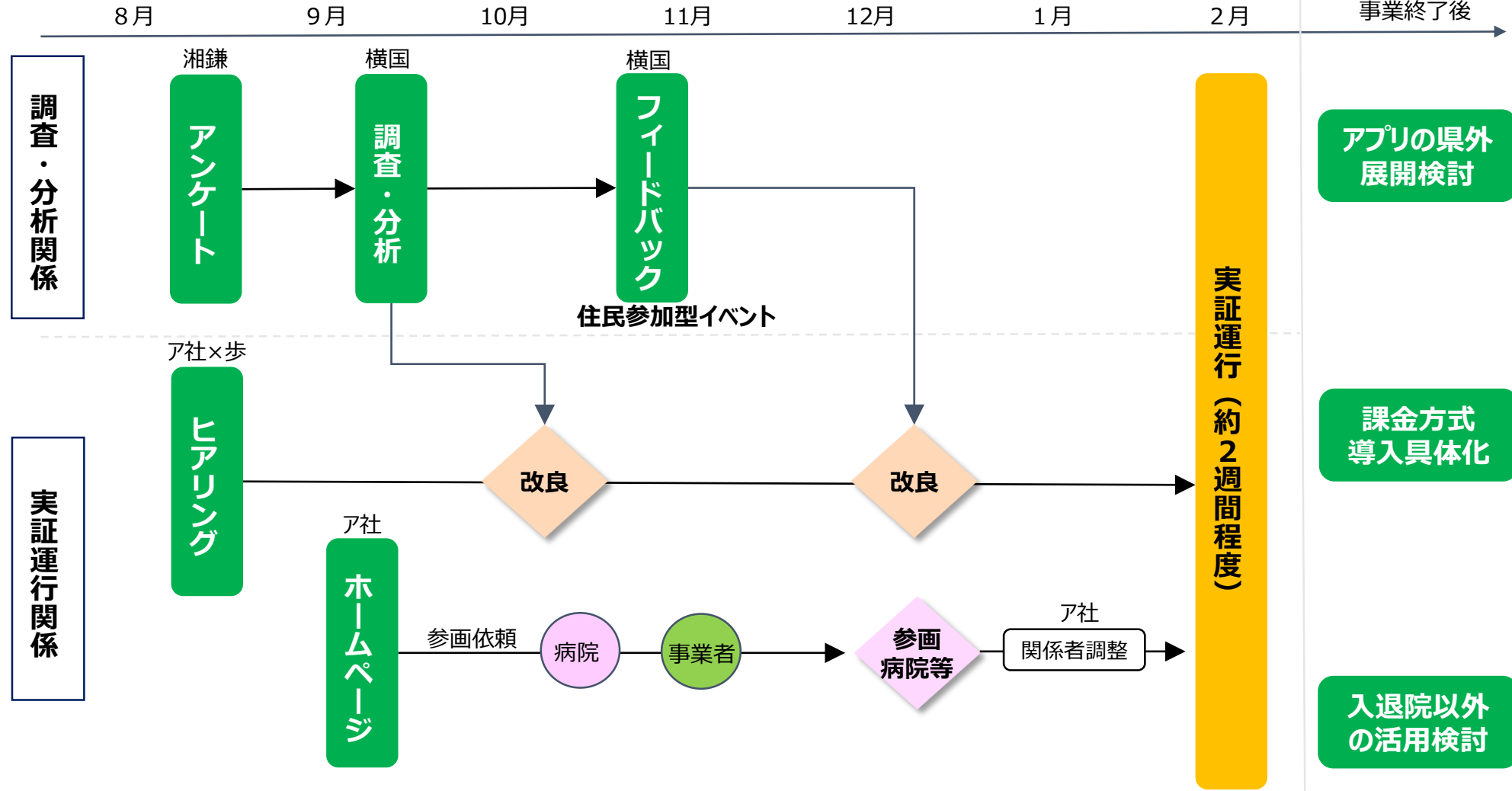
アイネットは病院の患者と介護タクシーのマッチングに取り組み（鎌倉市の湘南鎌倉総合病院）

効率的かつ自由な外出を支援する“四方よし”の介護タクシーデジタル化の概要

介護タクシーデジタル化共創プラットフォーム

取組の詳細

(事業のスケジュール)



湘鎌・・・湘南鎌倉総合病院、横国・・・横浜国立大学、ア社・・・アイネット

全事業主体

オモロイ病院プロジェクト

～産・学・医連携における課題発見・解決授業～



概要

講義名 : 横浜国立大学 副専攻プログラム 地域交流科目
「オモロイ病院プロジェクト（仮）」
～産・学・医連携における課題発見・解決授業～

- ・ 湘南鎌倉総合病院を授業の**演習フィールド**とする
- ・ 学生は当院に入り込み、**病院課題**を調査
- ・ 取り上げた課題について研究し、**解決案をフィードバック**する

湘南鎌倉総合病院

現実の場の提供

2040年の少子高齢化の時代備え
医療環境下での非臨床における
利用者（患者）・医療従事者の
改善に役に立つ課題を発見、解
決する必要がある

横浜国立大学

課題解決での学問的見地

頭の中で思い、数字で判断する
だけでなく、実際の人（現場）
の課題に触れることでの、一步
踏み込んだ課題発見をする

人の出向（現場に）

真のニーズ

人の出向（現場に）

社会（医療）課題解決
机上の空論でない、真のニーズを創出

企業

技術提供と継続的改善

導き出された課題への解決を
企業の有する知識と技術を駆
使し、より社会性ある形に変
化し、継続していく

課題解決のための技術実証

情報共有
データからの課題解決策の創出

これからの動きをお楽しみしてください
ご清聴ありがとうございました。